

施策評価シート (評価対象年度：令和元年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	2 青色防犯パトロールの実施	② 施策番号	7506
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1 防犯対策の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
教育部	指導課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	幼・小・中の児童・生徒
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	児童・生徒の登下校及び放課後の安全の確保。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	地域の子どもは地域で守るという意識が広まり、地域住民の協力体制も整ってきている。 国や大阪府においても、今後、ますます子どもの見守り及び安全確保については、国民・府民レベルでの見守りが図られると思われる。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 事件、事故の件数(登下校と不審者) 計算式:	件	子ども達の安全確保において課題となる登下校時の状況を客観化するため
② 計算式:		
③ 計算式:		

指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考	
① 事件、事故の件数(登下校と不審者)	件	目標値			8	0		
		実績値	19	13	9	—	—	
		達成率						
②		目標値						
		実績値						
		達成率						
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化		
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価		今後の方向性	
1	安全推進事業	事件、事故の件数	件	13	9	8	2,499	2,430	1,157	B	い	ce	○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
計	1						2,499	2,430	1,157				

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	登下校中に通学路で地域住民の見守りがあることで、不審者や交通事故の抑止につながる。また、青色パトの巡回は、子どもたちの見守りだけでなく、地域防犯にも効果があると考え。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	登下校中の事件や事故について、減少するのが望ましいが、結果的には横ばいである。ただし、見方を変えれば重大事案はなく、抑止効果は発揮されるという見方もできる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市民ボランティアが基本であり、最大限の協力をいただいております。適切であると考え。しかしながら、後継者の募集や青色防犯パトロール車両の維持費等今後の課題も残る。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	事業内容等適正であると考えている。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	抑止力に効果があり、現状の事業が今後も必要であると考え。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	他団体に比べても質の高い見守り活動を継続しており、今後も後継の確保に努め、子どもたちの安全を見守る。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	青色防犯パトロール車両を順次更新。 大阪府地域安全センターとの協働。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	青色防犯パトロール講習を土曜日、または、休日に開催。 ボランティア参加者の募集拡大。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	青色防犯パトロール車両の全車両更新を目指す。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	市民ボランティアの協力により、青色防犯パトロールによる子どもたちの登下校及び放課後の見守りが適切に行われている。 見守り体制への支援継続により、子どもたちの安全確保に努められたい。	